常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1210
編集部 1269

憩いの……
殿堂……
（女中入用）
旅館
翠月
平市新田町　電332

軌道に乗った常磐地区開発

常磐総合開発のうち高柴ダムと小名浜港湾施設、小名浜―新潟間二号国道さらに天然ガスの採鉱奨励金など予算を獲得した常磐総合開発期成同盟会では来年度からいよいよ待望の一大工鉱業地の造成に着手することになり成果が期待されるが、これにともなつて早期開発が要望されていた鮫川水利開発（工業用水、上水道）小名浜港湾施設の拡充さらに工場誘致の根幹問題となる工場用地造成もこのほど設置された東北興業会社から来年度事業費として総額六億一千万円の長期融資が決定、開催中の国会の審議を経て予算化、六月ごろには着工されるという明るい見通しがついた。

水利と工場用水造成も

県委託で　六月ごろには着工

工業地帯の限界点に来ている京浜阪神など四大工業地帯と比べ天然ガス、石炭利用による都市ガス、セメント工業、海水利用による金属マグネシウム塩化カリ工業、砂鉄工業また夏井川沿岸の木材利用工業など豊富な天然資源、地下資源をもつ常磐地区の開発は関係各省でもとり上げられ来年度予算には第一期工事として高柴ダム千二百万円、小名浜港湾五千万円、小名浜新潟間二号国道一億九千万円また常磐開発のエネルギーとして時代の脚光を浴びている天然ガスの開発費は二千万円が決定、三十二年度から工事に着工されるがこれにからんで常磐地区開発の重要な足がかりとなる鮫川開発工場用地造成は国庫補助の対象となる法律がないので、予算に計上されないため、県、期成同盟会では建設、通産省など関係各省に対して働きかけ強く予算化を要求した結果、大蔵省が二十億円の資本金を出して東北地区の遅れている地帯を開発するために設立した東北興業会社の手で来年度事業として鮫川水利開発に三億一千万円、小名浜、勿来、夏井、金畑地区など約五百万坪の工場用造成に一億一千万小名浜港湾施設拡充に一億八千万円、総計六億一千万円にのぼる工事を三年間据置、十七年返還という長期融資で工事にとりかかることを決定、これを県の委託工事として現在開会中の国会の議決を経て六月ごろから工事に着工する見通しがもたれている。

三十一年度の返還金

平税務署管内

平税務署では徴年税金を余計おさめた人達に返す税金……還賦金処理、申請所得、源泉法人税など三十一年度分の返還金を次の通り発表した。それによると源泉所得税は三百七十四万四十六円（カツコ内は件数三七二）法人税三千八百二十五円（二二）その他の税金二百十二万四千六百十三円（三四六）で源泉関係では五百八十六万八千四百六十四円（六六五）申告所得税は五百七十三万六千七百七十二円（一〇五三）法人税百七十六万一千六百九十円（一一九）その他五万七千九百四十九円（一六）総計千三百四十二万四千八百九十五円（一八六三）となつているがこれは仙台国税局で決定した分を七百四十一万三千二十八円（一九）を入れると平税務署管内の返還金は二千八十三万七千九百二十三円（一八八二）となる。

〔全日制〕

磐城高	400	
磐城女	400	
四倉高	200	(10)
内郷高	150	
同好間第二部	50	
湯本高	200	
勿来高	150	(50)
小名浜高	240	
磐城農高	150	(50)
同上遠野農業部	25	(△25)
植田募集停止	200	
平工業	310	(30)
平商業	250	
小名浜水産	140	

〔定時制〕

四倉高	20	
内郷高	80	
同好間第二部	40	
湯本高	40	
勿来高	40	
小名浜高	60	
磐城農業	10	
平上遠野農業	50	
平第二工業高	110	

老人凍死

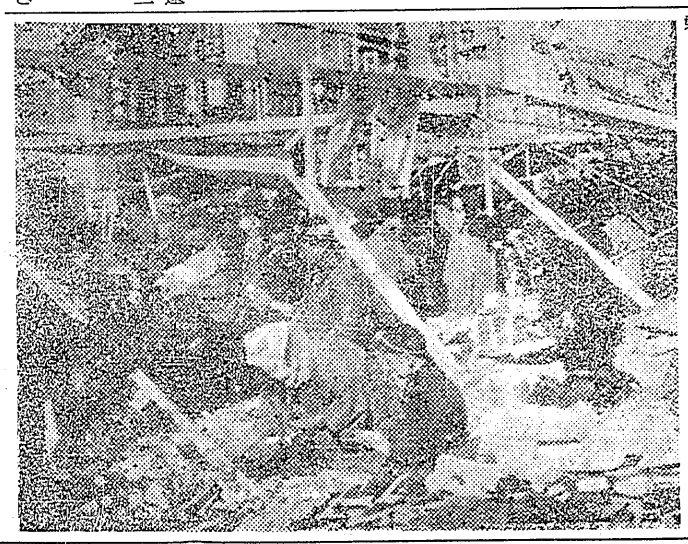
磐城市野田字八合農業丹野作平さん方雇人斎藤与作さん(七二)は三十一日午後十時ごろ泥すいして同市大原地内を帰宅の途中、誤つて道路下に転落、凍死体で発見された

高校募集人員決る

三十二年度県立高等学校の入学試験は三月二十二日から行われるが、県教委ではこのほど募集定員を一万七千二百三十名と内定した。これは前年度より百四十五名の減で全日制一万四千名（二百二十五名増）定時制三千三百三十名（三百七十名減）となつている。また全日制植田高は新規募集を行わず、統廃合を推進することが注目されている。石城関係は次の通り。（カツコ内は増、△は減）

電柱に激突

運転手負傷



磐城下明神小名浜タクシー運転手高橋貞治さん(三九)は、三十一日午後六時五十分ころ同市中作字川岸地内の県道を疾走中前方から来たトラツクのライトに目がくらんで運転を誤り、道路右側の電柱に激突顔面などに全治二週間の傷を負つた。なおハイヤーは前部を大破した。

暴行二人組捕る

平署は三十一日夜、平市ネギ町土建下請負佐藤存(三三)、同字幕ノ内トビ職太田利雄(三四)の両名を傷害現行犯で逮捕した。同夜十一時五十分ころ市内四丁目カフエー宮寿前路上で通行中の磐城市字吹松理髪業角田啓介さん(三)に対してインネンを付けて顔面などを殴りつけて全治一週間の裂傷を負わせたもの。

平電話局に小型交換機

平電話局ではこのほど経費六十二万四千円でスマートな小型交換機を備付けた。これで百二十名の交換嬢は便利になつたもので、従来までの交換機は送話機がラッパ式の時代物で大きかつたが、今度は送話機が小型マイク式の白とスカイカラーで軽く福島局に次いで新しいもの。

子供の世界

風太郎画

でこ市賑う

旧正二日の一日は打ち続く小春日和に恵まれて朝早くから近郷近在の農漁村の人達がドツト商都平市に繰り込み新正に続いての賑わいを呈した。この日ばかりはお百姓さん達にとつては一年中で一番楽しい時とあつて服装は色とりどりのものを着飾り、また漁村の人達の間では豊漁景気のよい笑顔も見受けられた。一方手ぐすね引いて待ち受けていた平内の各商店では声をからして客寄せに大童で、特に三十メートル道路に眼られた名物二日市は宣伝が功を奏してかハチの巣を思わせ出るも入るもない始末、お百姓さんもこの日は懐の無礼講とあつて一年の汗の結晶ならぬ米代金の千円札を乱舞させたこのほか市内各映画館も大作、名作をずらりと揃えて客の争奪戦を展開したが、いづれも満員の礼が出るほどでホクホク顔であつた。

（写真は賑わうデコ市）

魚かす詐欺

男捕る

千葉地検八日市場支部は三十一日銚子市清水町海産物加工業網中勘助(三八)を詐欺の疑いで逮捕した。三十年十一月三日磐城市海産物加工業新妻豊さんから魚カス八十七俵（十七万四千円相当）を詐取したほか、二十九年九月三日ごろ東京都内葛西喜親さんを銚子市新生町富士銀行銚子支店裏の魚干場に連れて行き、他人所有のシメカスを見せて手付金二万円を詐取したほか、さらに日東ミシン四台を葛西さんから自宅へ送らせ、同様だまし取つていたもの。

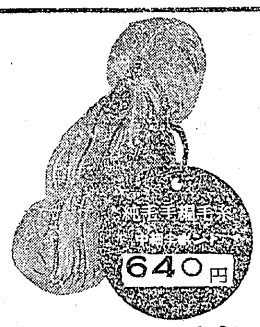
電線抱えて死んでいた

三十一日午前七時ごろ三和村中三坂字出ノ入農業永久保富雄さん(三)が自宅裏山に年令二十才から三十才前後の男が切断した電線を抱えて死んでいるのを発見、平署に届出た。身元は不名であるが自殺とみられている。

ラジオ日東

御年始正札の半額提供
旧正2日から5日まで（2月1日から4日まで）
一流メーカーの春冬物 背廣・オーバー・スプリング地
お一人様一着にさせて頂きます
洋服・生地
マルエ
平市三丁目 電2023

業務所移転のお知らせ
予てから新築工事中の当支所業務所はこの程竣工致しましたので来る二月四日より左記新築事務所に於て業務の取扱を致すことになりましたからお知らせ旁々御挨拶申上げます
昭和三十二年二月一日
國民金融公庫平支所
移転先　平市菱川町二番地
電話(平局)三三五七番



ダイヤモンド毛糸
春色全色揃いました
半ポンド800円
ハシモトヤ糸店
平市銀座街　TEL14

肖像畫女子習生入用
◇年令満十六・十七才の方三名
菊水画房
平市五丁目

急募　女子事務員一名
☆年令　十八才以上二十才迄健康な方
☆履歴書持参、委細面談（正午より）
但し珠算堪能、旧市内居住者に限る
株式会社 平海産物市場
平市ね宮町五二電一八〇三

味自慢
寿し…
割烹…
御料理…
仕出し承ります
…和洋食…
…中華そば…
（出前 迅速）
奈加や
平市才槌小路
TEL 395

ピッタリとお気に召すこと
うけ合い!!
正札洋服店
平市大通り

簿記実務検定合格者

一級　星形喜美夫　小林統　草野忠衛　小林功　長谷川豊子　秋元ユウ子　遠藤富子　武石孝　阿部英巳　志村富子　森行康　高木良枝　桑谷茂　村田泰二　本多茂吉　田辺哲　内藤友男　小野源太　渡辺政彦　久保木信夫　小沢磨志男　阿久津文雄

二級　大平博　磯上彦保　比佐ミツ子　矢代昭雄　渡辺至　樫村保次　鈴木勲　佐藤順一　石井武典　鈴木英武　戸田アサ子　村上清勝　根本ゆき子　猪狩勲　伊野良行　鈴木一弥　矢吹二美子　鈴木佳吉　佐藤英治　山際大介　斎藤章　大楽守之　村田代利子　太田祐一　飯高新平　田辺哲　小野源太　坂内清修　小沢昌孝　岡野公子　鈴木克美　山野辺常一　高木征一　加藤道徳　吉田一夫　渋川正一　松本俊雄　村上安正　佐藤良子　横田曜久　関根紀二　鈴木紀雄　子　吉田勝利　渡辺キヨ子　山村宏　蛭田陽子　江井光重　大間寧　池田達　小林不二弥　高島彬夫　両国ヤス子　早川一三　石森久子　熊谷行男　後藤幸寿　三戸伯弘　根本弘一　野地登久雄　羽賀昭広　荒川長弥　金沢紀英　四家保正　矢内忠　吉田勝紀　佐藤一代　松本紀子

三級　白旗和子　磯上保修　鈴木英子　鈴木秀昭　加藤勝　坂本旭　渡辺弘良　五十嵐富美子　佐藤輝子　星伝子　宇佐見勝津子　新妻克夫　小野京子　荒谷哲夫　渡辺寛美　村上美智子　五十嵐誠　先崎忠徳　吉村忠雄　須川ケイ子　園部三千雄　矢内信夫　大楽守之　佐藤弘恵　渡辺英俊　吉田実　海野英子　佐久間博幸　永山恒子　金川由美子　阿部襲夫　市川謙一　小野運司　村山達男　松本俊雄　秋山守之　鈴木俊一　国兼敏男　柴山昭子　菅沼節子　佐藤トヨ子　長谷川智恵子　杉本友子　佐藤龍子　新妻政子　斎藤美沙　深井恵子　森文江　佐藤民子　早川光子　西山伊淳子　関根紀二　小松眞幸　酒井務　金成千恵子　佐藤曜子　鈴木昭子　田中正道　馬場彬　薬谷京　草野黛　吉田勝利　蛭田陽子　上津一清　遠藤優　加藤雅司　佐藤勇　佐藤幸夫　大楽章　星名敏明　宗像敬　吉田正弘　飯島マサ子　井上和佳子　佐藤恵美子　佐藤菊枝　佐藤碧　鈴木国代　高久徳子　山崎美智子　山野辺茂雄　遠佐隆　吉田武　早川一三　石森久子　上野多恵子　大森英子　菅野宇良子　鈴木ミサヲ　赤津勝夫　嵐正男　小野雅健　大野英六　佐藤範光　佐藤光隆　四家四三郎　鈴木明雄　西山栄一　蛭田良子　正木孝枝　橋本リツ子　三浦ユキ子　吉田ケイ子　渡辺良子　岡田美江子　小川龍子　小野照子　黒坂剛　鈴木友己　田村けい二　新妻康秀　新妻タカ子　渡辺とよ子　大楽章子　門馬豪只　門馬昌之

勝丸など市長賞
小名漁協さよう表彰

小名浜漁業組合ではきよう一日午前九時から磐城市栄町の同組合講堂で三十一年度優良漁船五十二隻と優良船員六十五名、優良仲買人十六名を表彰した。

とくに一年間を通じて最高の水揚げ高を示した同市古屋の内三代義勝さん所有の旋網船勝丸（三一トン）同市栄町馬上庄治さん所有の第五瑞宝丸（八四トン）同市古港斎藤誠吾さん所有の中型底引船第三観音丸（二九トン）同市栄町馬上正男さん所有の小型底引船第七瑞宝丸（二一トン）八戸港所属の回船八幡丸（三五トン）の五船主に対しては三代磐城市長から市長賞と優勝旗を、また二十六年間漁業技術の改良に尽力、漁業技術の基礎を築きあげた同市下町第二宝来丸船主関谷幸吉氏（宝三）には水産功労者として市長賞をそれぞれ贈つて表彰した。なおこの日同港所属の第三観音丸（二九トン）と第七瑞宝丸（二一トン）の両船主には海難救助功労者として小名浜海上保安部長賞が贈られた。優良船員の氏名は次の通り。

▼優良船員、旋網漁業＝出羽福寿　小野政吉　斎藤好　平野広司　鈴木金一郎　阿部長吉　成田正一　遠藤秀雄　磯山昭吾　室形義正　高木義雄　小磯源次　国井末八　大磯吉雄　戸田義雄　志田寅之助　富田稲美　菅野喜志　馬上貞夫　佐藤正　前田与一　白土広　熊谷幸治　三保谷陽一　白土忠勝　小野進　宮沢兼一　本間勝次郎　石井章　山野辺実　飯村繁三　鈴木豊二　荒井政二　豊田賢太郎　小野昌平　小野運蔵＝小型底引船＝穂谷野秀康　笹川徳治　渡辺庄松　高村春雄　根本留治　平幸太郎　桑野健治　直坂茂　佐藤彦一　清水鹿蔵　近藤啓次　馬月長次郎　飛田利次郎、相沢智大村実、佐藤昭二、＝定置網＝橋本広忠、橋本茂作、大高吟之助＝小型＝小野寿、各田勇三郎　鈴木政男、小松林弥＝小舟一本釣＝佐藤多助、川又六之函、小野保、原田寅吉。

大和いも大成功
更に増産平の名物に

平市では昨年春兵庫県から大和芋の種を購入、この奨励に乗出したが、同市の土地が大和芋の栽培に適しているため成功を収めたので本年も大いに力を注ぎ、平市特産にしようとはり切つている。種芋は千八百四十貫を導入、これを市内の草野、夏井、高久、赤井、豊間などの希望農家四百戸に配給して二町七反歩を耕作したところ、昨年秋の収穫は一万千六百十貫に達した。そして昨年暮の二十七日の京都市の丸京青果市場に千三百八十五貫を出荷、この代金三十九万円が市に届いたので三十日市役所耕作者代表が集まり代金を受取るとともに話合つた結果、さらに一層大和芋の栽培を普及し、平市の特産物にすることになつたものである。

さらに近く種芋を残し第二回出荷が行われるが、すでに大和芋共同出荷組合（組合長佐藤友寿市議）が結成されており、近い将来一大特産物になるものと期待されている。この大和芋は高級菓子、かまぼこなどの原料に使われる。

滞納千七百万圓
船員保険　整理に協力求める

漁船の船員保険料が去る十二月末で千七百四十一万七千十七円も滞つている。決められた納金は全額の五千五百十五万八千四百九十二円に対し六八・四二％これでは保険金給付に差しつかえるとして平社会保険出張所が去る二十五日磐城船員保険りょうで、県下の船主団体事務担当者と海員組合代表者を招き懇談会を開いて滞納整理の協力を求めた。船員保険料は船主が七分船員が三分の割合で船員の分は船主が賃金中から引き、指定船主団体の事務担当者が納めることになつている。

平社会保険出張所の調べによると給付金額は被保険者の現金給付六百七十万六千四百十六円、被扶養者分が七百十三万一千七十七円、診療報酬が当人と扶養者分合せて二千七十九万八千四百五十五円。全部で三千四百六十三万五千九百四十八万円、納めた保険料は三千七百七十四万一千四百七十五円で三百十一万一千五百二十七円浮いている訳だが、毎月二、三百人利用している船員保険りょう経営の財団法人船員保険会襲その他の支出で、保険料の納金が遅れると給付金の支払いに困るときがあるという。

それでも全国四十八の社会保険出張所、三十年に四十位以下の不成績だつたのが三十一年は二十四位に上り、かなりよくなつた。中ノ作団体は九九・四六％納めて文句なしの成績だが納めの悪い船主がほかに多い訳で、海員組合では早く納めるよう各船主団体へ申入れた。

岳東会總会

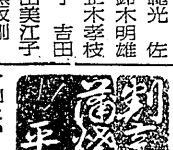
磐中、磐高至誠生で組織されている岳東会＝会長仲里勝利氏＝では二月十七日午後四時から常磐市新滝旅館で総会を開き役員改選などを行う。

ズリ山の崩れ防止に
ボーリング調査

ズリ山が崩れるのを防ぐ対策を研究するため、東京鉱山保安監督部平支部が常磐炭砿湯本六坑のズリ山中腹でボーリング調査をしている。一定の深さごとにズリ土を取つて密度や水分を分析し、まず力学的にズリ山の耐久力を調べるもの。

去る二十一日から二十日間の予定で調べているが、採炭が進むにつれて坑内から吐き出すくず炭や岩石を捨てるのが積り積つて、大きい炭砿では高さ七・八十メートルの山を築いている。九州の佐世保では一昨年この山（あちらではボタ山という）が大崩落して七十三人の死者を出した。方々の炭砿でズリ山の事故が多くなつたという常磐炭砿のズリ山は広い場所で、ふもとには人家もなく、ここの六坑ズリ山も心配はないが、研究のためボーリング調査地に選んだもの。

なお大雨のときの流水や崩落を防ぐのと緑化を目指して、昨年常磐炭砿で湯本四坑ズリ山にアカシヤの苗木五百本を試植したが、肥料分もないこの土質では育たないようで全部枯れてこれは失敗した。



今晩のラジオ

◆NHK（第一）
シンブン　次郎物語　スポーツ便り　四高通信　録音ニュース　花の星座　演芸独演会　ニュース解説　歌謡劇　録音構成　放送劇　きようのニュース

◆ラジオ福島
トニーの童話　赤胴鈴之助　永遠に答えず　録音ニュース　中合アワー　エンゼルタイム　素人歌合戦　テルミーおしゃれ　ミュージツク　明色歌謡ゲーム　ユーモア歌合戦　名作アルバム　夜の案内　夜の調べ　時事解説

今晩の映画

▼ひかり座　四日マデ　空飛ぶ円盤地球を襲撃す
▼聚楽館　テーブル・ロツクの決闘　四日マデ　大アマゾンを征く　誇り高き男
▼平館　五日マデ　初場所大相撲前半戦　乱れ白菊　踊る魔天楼
▼民劇　四日マデ　星空の街
▼東映劇場　五日マデ　くもの巣城　恋染め浪人　母孔雀
▼世界館　四日マデ　民謡を訪ねて　スタヂオはてんやわんや　銀河の都

旧年始の御贈答に
時計　鏡　筆　輪　オ
眼　年　万　指　ラ　ジ
山崎時計店
平市五丁目　電九九一
★時計の検査には
★電気タイム
グラフアー使用
平指定商加盟店

御婚礼
調度品家具
家具のデパート
あるが
本店　平銀座街電223
支店　平市四丁目

愈々
食肉の季節になりました
良品廉売の定評ある……
緑屋の牛豚肉を
本店　平市一丁目　電五三九番
支店　平駅前甲陽館隣り　電七九四番
マイタル粉石鹸
代理店　袋屋本店　電516

石炭コークス
火力の強い
火持の長い
カスの少い
徳用石炭
◆電話三七番・二三七番へ
一俵よりお届けいたします
平市田町　常磐炭礦販売会社

クロのアイデア
ぎんざ店　二丁目店
スガタ

寒い季節は人体の休息時期です
カロリー補給も寒さを蹴飛ばす
レストラン
パールで
カキフライ
チキンライス
パールライス
などを!!
PEARL
レストラン
パール
平市田町　電1388

不動産売買・仲介鑑定貸家斡旋
福島県知事公認取引所
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際　色川材木店内　電三六一番

なべ類各種
百五十円より
よせなべ
ちりなべ
なべやき
特製　しるこ　四〇円
ぜんざい　五〇円
出前迅速
夜間営業いたしております
大衆食堂　さかえ
平市駅前　電九八八

優秀な品質を誇る
スキー用品！
アノラック・トレンカー
ジャンパー・トレーニング
シャツ
パンツ

グランドグ
平市才槌小路　TEL 108